

星光中学突破カリキュラム

各学年の学習ポイント

入試データとポイント

学習計画

対策の特徴

◎ 年間スケジュール

	2月～7月	8月～1月	2月～4月	5月～8月	9月～11月	12月～1月
学校行事	期末テスト 三者面談					
トライ対策スケジュール	5年 基礎力養成期		6年			
			応用力養成期	発展力養成期	実践力養成期	
	四谷大塚予習シリーズ5 中学受験の基礎知識定着を目的とする	四谷大塚シリーズ6年上 中学受験の基礎知識定着を目的とする 総合復習を月1回行い理解度を確認	四谷大塚シリーズ6年下 1ヶ月に一回総合テストを行い理解度を確認。	近畿の中学入試問題集(発展編) 別途演習編や算数に関しては1行問題集も時間に余裕があれば行い演習不足をカバーする。	星光中学過去の20年 星光中学をはじめとした難関中学の過去問を数多く解いておくことで時間配分や最低合格点の取り方を学習。	清風南海、四天王寺中の過去問
ポイント	難関中学の過去問を数多く解く 星光中学過去20年の過去問を解く					

◎ こういう生徒にお勧め!

現在トライを利用中の方に最適なプランです。
 ・ 中学年「塾に行き始めたばかりでギャップが有方」
 「志望校に対して早めに対策したい」
 ・ 高学年「家で勉強しているのに成果が出ない」
 「塾の内容についていけない」

◎ 対象エリア

対象学年：小学4年～6年生
 対応地域：近畿圏内
 指導期間：お申し込み時から受験日の月末

◎ 対策の特徴

特徴1
 生徒の性格にそったプロの家庭教師の指導が受けられる
 特徴2
 志望校に対して足りない点を効率的に指導ができる
 特徴3
 塾併用の場合、塾の勉強が無駄にならない指導。塾の宿題のスピードアップ
 対応教師
 セレクトBからプロアドバンスの教師

◎ Data Mining

入試データ&ポイント	平成21年度は募集人数190人に対し、受験者数593人、合格者275人、合格最低点277/400点 ポイント：・I型II型の受験型を出願時に選択。I型①④科目合計②国・算・理の合計を×1.25倍③国・算・社の合計を×1.25倍①～③の内最高点を受験生の成績とする。・II型①国・算・理の合計×1.25倍。・一般的にはI型で受けるほうが最高得点が出やすい。・社会の学習をしているならI型が望ましい。・出願後の受験型変更は認められない。
算数	試験時間60分。独立した計算問題は例年1問。単純問題のため必ず獲得。見直し必須。文章題については推理・規則性を見つけ出す問題が多い。応用問題の対応力が必要。複合図形の体積や面積。回転体の体積、表面積、点の移動等の想像力が必要となる問題が多い。関数はほとんど出されない。出題分野：計算問題(四則混合計算、数の性質)、応用文章題(立体図形、平面図形、点の移動)、1文問題(特殊算)《計算問題1、一文問題4、応用文章題3～5》
国語	試験時間60分。例年長文が2問。漢字の書き取りも入っている。監事は配点も多くとられているため言葉の練習帳をやっておく。文章量が多く、解答も記述式が多いため、文章に対する慣れが必要。中学校の国語の教科書を読んでおく有効。また難関過去問もやっておく。出題分野：物語文1、論説文1、漢字5
理科	試験時間40分。全体的にレベルが高いため、同レベルの問題を数多くあたる必要がある。特に過去問題は20年間分対応できているとベスト。物理が28%、化学が26%、生物と地学で約20%と化学、物理分野からの出題が高い。特に「回路」「酸素・二酸化炭素」「植物の働き」「天気・気温」の出題率が高いため多くの問題を解いておく。出題分野：物理分野、化学分野、生物分野、地学分野
社会	試験時間40分。選択ではなく記述が多いため普段の学習方法に記述ができる問題集を使うこと。出題の角度はさまざまだが、教科書レベルがほとんどであり、逆に教科書にのっているレベルを細かいところまで完璧にしておくために問題を数多く解く。日ごろからメディアの内容に興味を持つ必要。出題分野：地理1、歴史1、公民1